




太田油脂の取り組みについて

2024年3月14日

Ⓜ 太田油脂株式会社

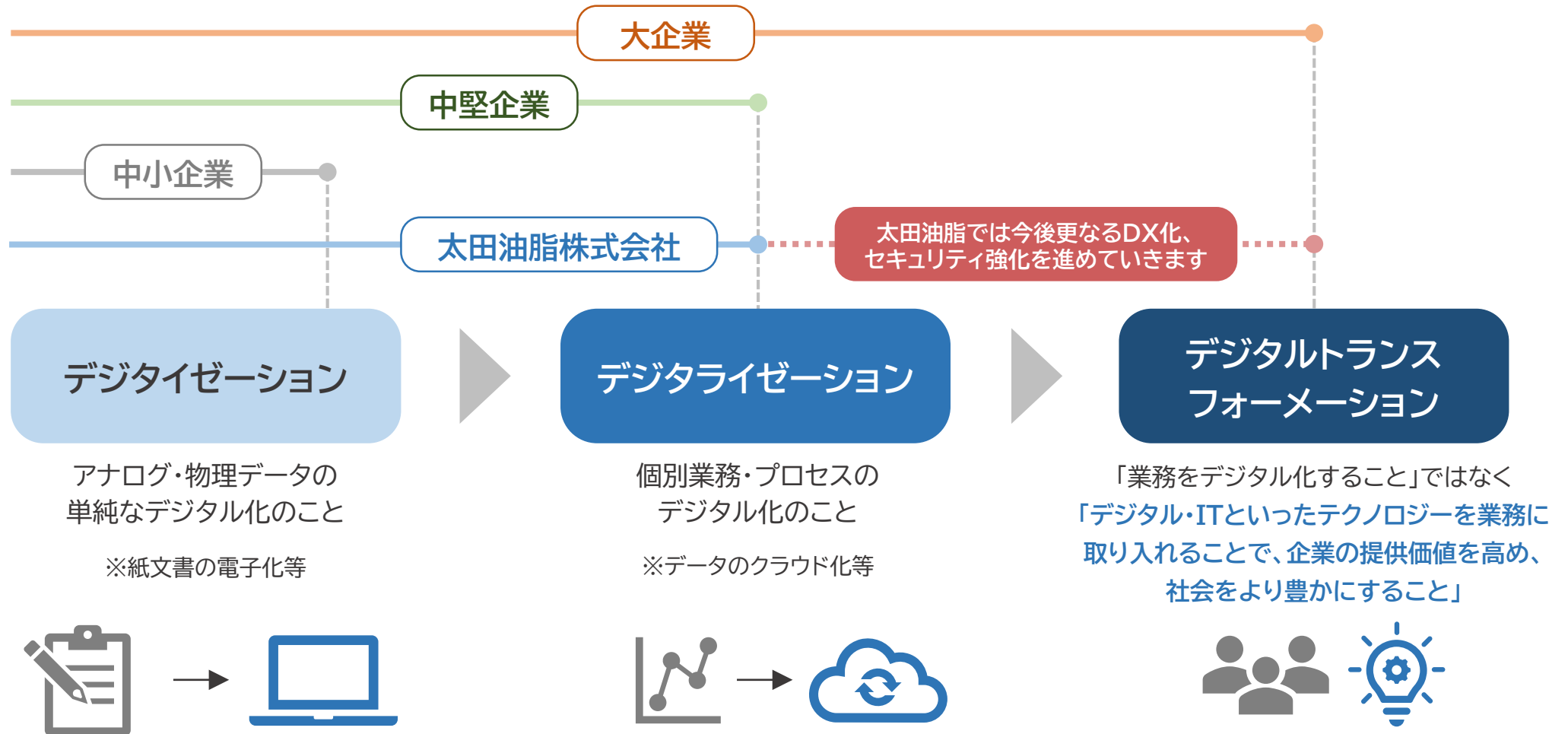
太田油脂について

地域の皆様に支えられて2022年4月、120周年を迎えた食品製造メーカーです

会社名	太田油脂株式会社 
所在地	愛知県岡崎市福岡町
代表者	代表取締役社長 太田 健介(岡崎商工会議所副会頭)
創業	明治35年4月
売上高	150億円(2023年3月期)
拠点	岡崎工場、名南工場、東京支店、茨城工場
事業内容	油脂製造、加工並びに販売 肥料、飼料の製造並びに販売 他
グループ企業	10社



太田油脂のこれまでの取り組みについて



太田油脂のこれまでの取り組みについて

DX

と

セキュリティ

両輪で

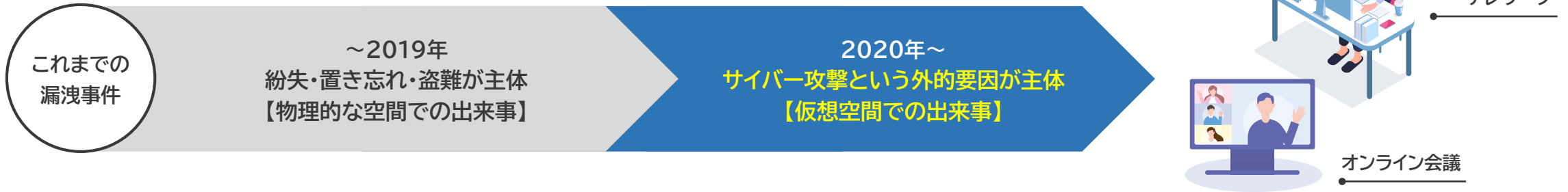
- テレワーク
- オンライン会議
- スマホ全社員配布
- RPA導入
- SFA導入
- 勤怠システムクラウド化
- コミュニケーションツール導入
- 名刺管理ツール導入
- 資産管理ツール導入
- ファイルサーバのクラウド化
- UTM導入
- グループウェアクラウド化
- 社内継続教育(個人情報)
- 社内専門家
(個人情報検定合格)
- Pマーク取得
- 社内継続教育(情報セキュリティ)
- 標的型メール訓練実施
- ISMS認証取得

SECURITY ACTION
セキュリティ対策自己宣言 ★

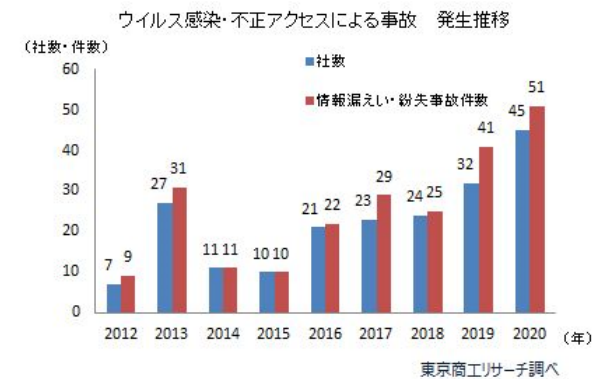
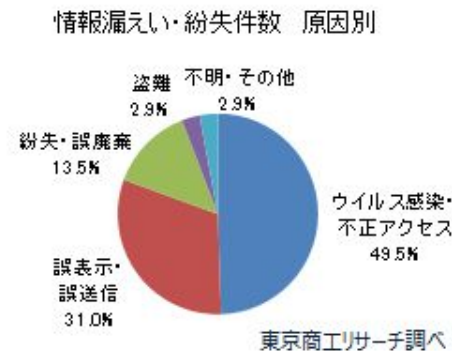
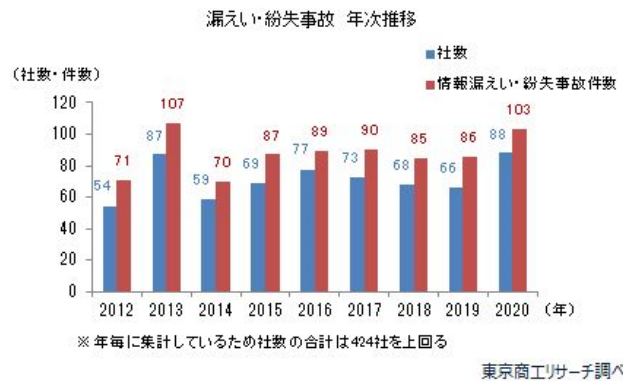


DX化を進めるうちに気付く脅威

コロナ禍となる2020年からテレワークやオンライン会議の普及により、サイバー攻撃が急増してきている



企業がもっとも注意すべき情報漏えいの主流は、物理的なリスクからサイバーリスクへ変化してきている



「上場企業の個人情報漏えい・紛失事故」調査(2020年)より抜粋

相次ぐサイバー攻撃の被害、私たちが直面する課題

順位	情報セキュリティ10大脅威 2024年版 ランキング(組織編)	2023年順位	2022年順位	2021年順位	2020年順位	2019年順位
1位	ランサムウェアによる被害	1位	1位	1位	5位	3位
2位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	2位	3位	4位	4位	4位
3位	内部不正による情報漏えい	4位	5位	6位	2位	5位
4位	標的型攻撃による機密情報の窃取	3位	2位	2位	1位	1位
5位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)	6位	7位	---	---	---
6位	不注意による情報漏えいなどの被害	9位	10位	9位	7位	10位
7位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	8位	6位	10位	---	9位
8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	7位	8位	5位	3位	2位
9位	テレワークなどのニューノーマルな働き方を狙った攻撃	5位	4位	3位	---	---
10位	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)	10位	圏外	---	---	---

サイバー攻撃を起点としたサイバーセキュリティリスクとなるもの

『人』を起点とした情報セキュリティリスクとなるもの

※IPA発行「情報セキュリティ10大脅威
2019/2020/2021/2022/2023/2024」より抜粋

リスクを軽減するためには、組織的な活動と教育による従業員のリテラシー向上が必要
海外からの攻撃に備えるためには、技術的観点のみでは攻撃は防げない

私が指示した対策とは

経営者・従業員一致団結した対応を取らなければサイバー攻撃は防げない

サイバー攻撃の **被害にあわない**・被害を拡大させない・加害者にならない



現実

サイバー攻撃は **時間・場所・企業規模** を選ばない

セキュリティの難しいことはわからないが、『**供給責任を果たすために**』私が自ら先頭に立つ

経営者のリーダーシップ

トップダウンを浸透させる

コミュニケーション・情報共有

従業員教育のリテラシーの向上を図る

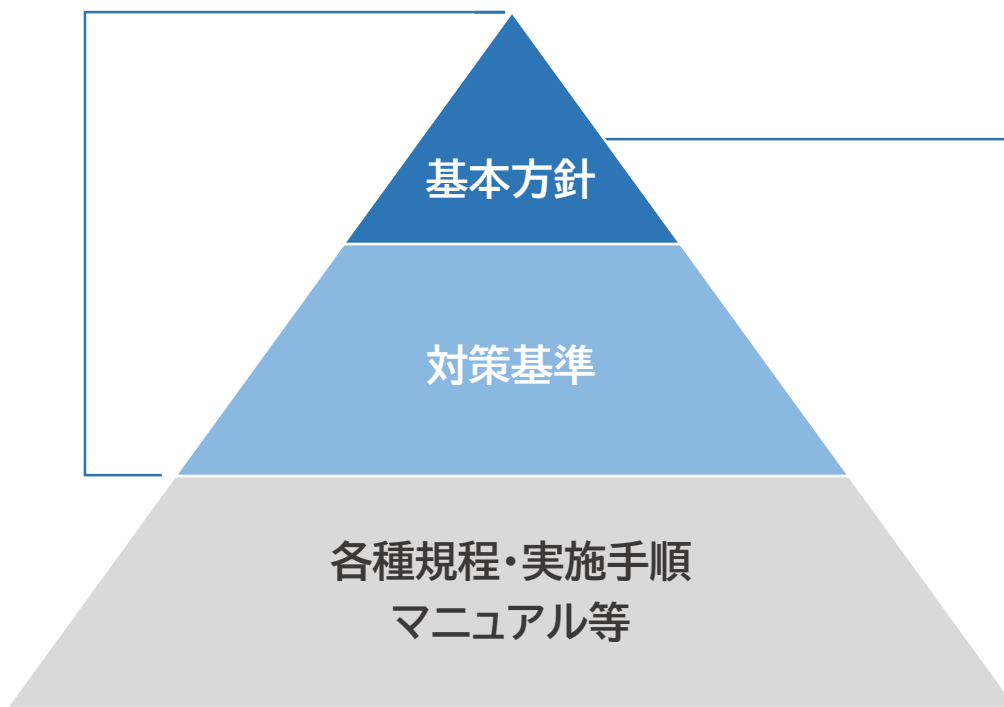
ステークホルダーマネジメント

お客様に対して供給責任を果たす

私が先頭に立ち、セキュリティポリシーをレビュー

「情報」を大切に管理し、運用していくことは私たち中小企業にとっても社会的責任の一部でもあります。
私たちは、『情報セキュリティ基本方針』を定め、社内外に公開することでまず、私たちの覚悟を決めました

情報セキュリティポリシー



太田油脂株式会社(以下、当社)は、「信用第一」を社是として取引先及びお客様からお預かりした**当社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、当社に關係する皆様からの社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき**全社で情報セキュリティに取り組みます。

1. 経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2. 体制及び従業員への教育等

当社は情報セキュリティを維持する責任を自覚させるために、社内に情報セキュリティの維持及び改善のための組織を設置し、従業員及び関係者全てに定期的な教育並びに啓発活動を実施し、必要かつ適切な監督を行います。

3. 法令順守

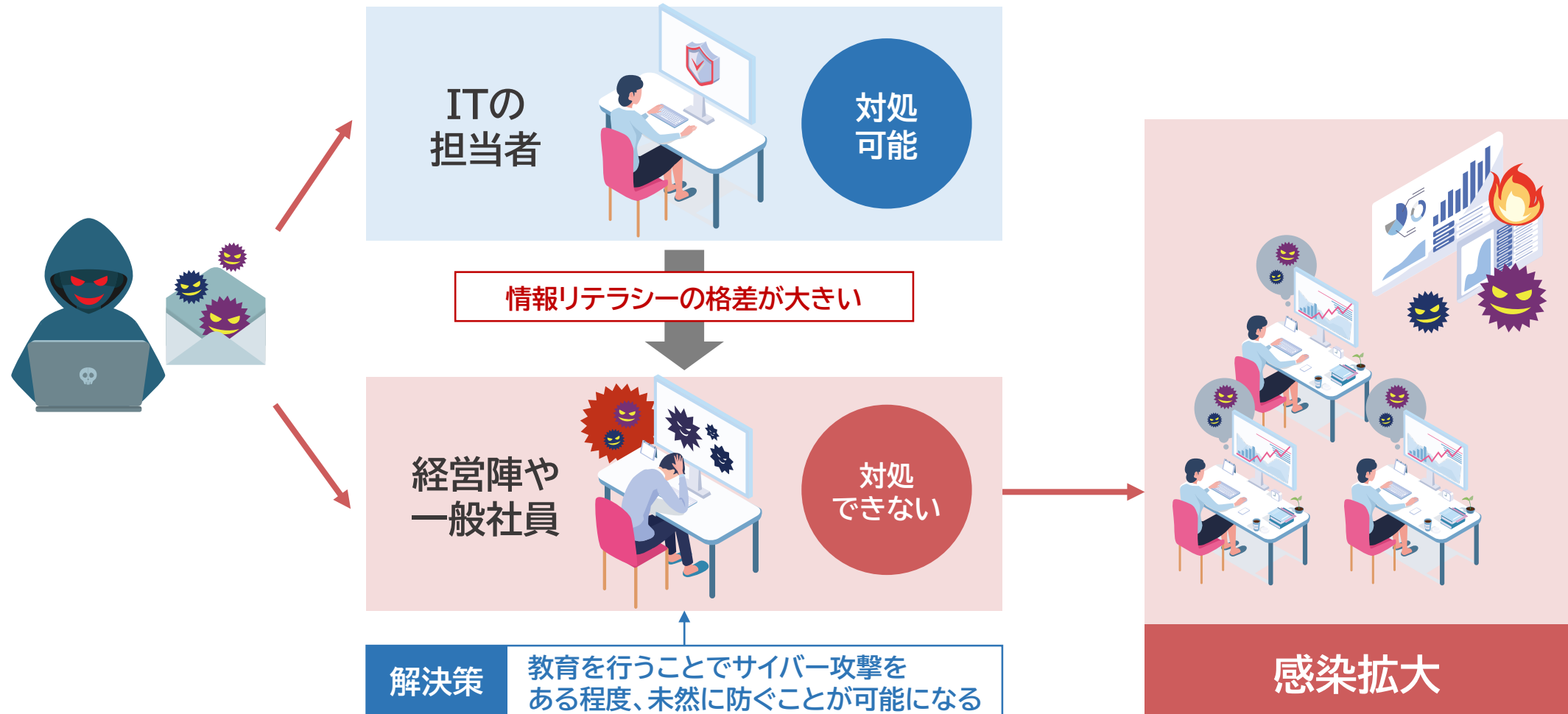
当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに当社に關係する皆様への期待に応えます。

4. 事業継続性の確保

当社は、万が一、情報セキュリティ上の問題が発生した場合は、直ちに原因を究明しその被害を最小限にとどめると共に、必要に応じた情報公開を行い、事業継続性の確保に努めます。

悪意のある人間に対抗できるのは、やはり社内の『人』ではないでしょうか

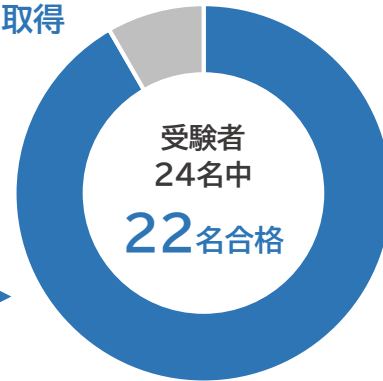
サイバー攻撃を仕掛けるハッカーは、攻撃対象者を選んでもくれない



経営陣にも従業員にも適切な教育を実施する

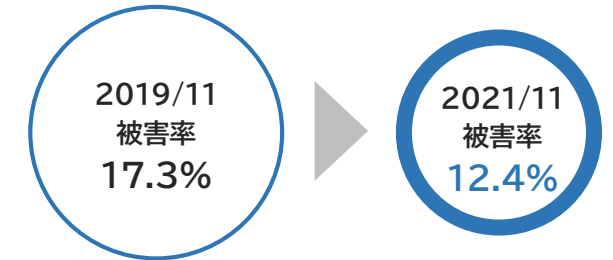
2020年度活動成果 個人情報保護研修

- ① 社員の力量だけでプライバシーマークの取得
岡崎市では13番目(2021/07/08)
- ② 各单元ごとに理解度テストの実施
- ③ 『個人情報保護実務検定2級』
22名合格(受験者24名) →
全社員の1/5(社内有識者の養成)



2021年度活動成果 情報セキュリティ研修

- ① 標的型メール訓練
被害率の低下 →
- ② ISMS認証取得へ
2023年1
ISMS認証取得
- ③ 情報セキュリティ初級認定試験
全社員合格目標 → **22年度太田油脂 全社必須資格に認定**



全員に研修を受けさせるためには、单元を細分化し必要最小限の時間でどこでも受けられるようにする。

全15回

毎回15分

オンライン

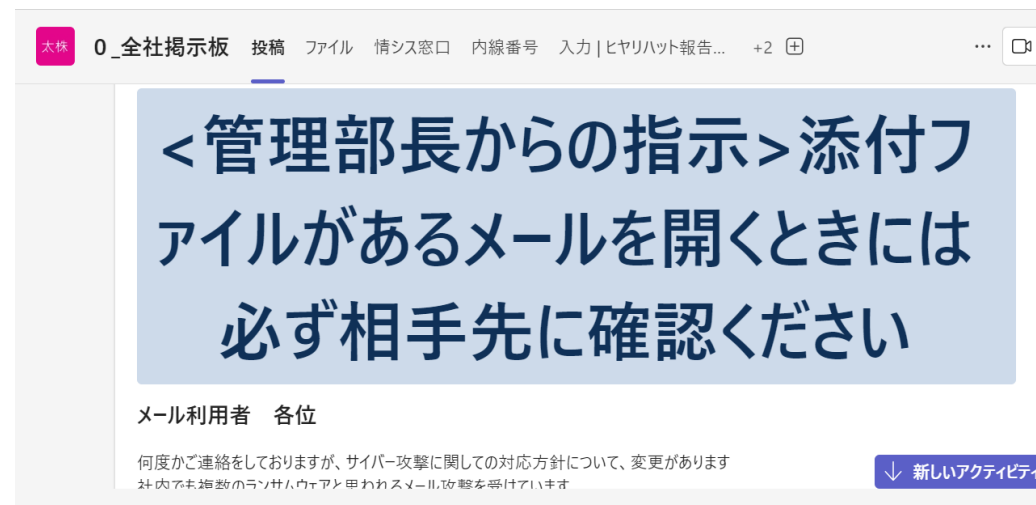


教育の力でサイバー攻撃の猛威から身を守る!!

Emotetと思われるサイバー攻撃が社内で猛威を振るう

太田油脂では、Emotetが一時期猛威を振るいました。多い時には、日に80通近くのメールが来る日がありました。社内で対策本部を設置し、全社掲示板を通じて毎日社員に周知していくことで、幸いにも誰もクリックすることなく、無事乗り切りました。

この教訓から下記の対応を実施し、今でも続いています。



太田油脂(株)では、添付ファイル付きメールを送付する際には、「本人」である旨を示すメールも送付しています。



2度手間でも、被害にあわないようにシステムをすり抜けても人的対策で防ぐことで被害の合わない風土づくりを行う

合 坂之上 【企業行動・リスク管理委員会】開催と取組状況ご記

Sakanoue-Atsushi(坂之上 淳)

2023年1月20日(金) 18:52

坂之上 【企業行動・リスク管理委員会】開催と取組状況ご記入のお願い

Sakanoue-Atsushi(坂之上 淳)

2023年1月20日(金) 18:51

教育活動状況について

個人情報保護研修

そもそもなんで勉強しないといけないの??

我々は個人情報を扱っているからです!

4月に情報システムより「情報だより」を発信いたしました、我々が運営するECサイトは日々お客様を増やしています！お客様の情報はすべて個人情報にあたるため、保護しなければいけません。義務が我々にはあるからです！

たった一人の不注意により個人情報流出が、、、悪意のある第三者がデータを改ざんすると、、、会社は大変なことになります！

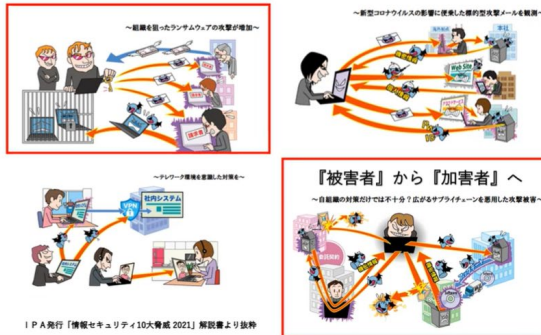
それでは問題です

- 問題① 名刺は個人情報なの？
 - 問題② 個人情報保護法では死者の情報は個人情報にあたる？
 - 問題③ 社内通用口にある指紋認証って個人情報なの？
 - 問題④ マイナンバーは個人情報にあたる？
-

もはや他人ごとではなくなったサイバー攻撃

I P A (情報処理推進機構) が発表した『情報セキュリティ10大脅威 2022』

順位	組織	昨年順位
1位	ランサムウェアによる被害	1位
2位	機密漏洩による特定情報の窃取	2位
3位	サブライクエーションの脆弱性を悪用した攻撃	4位
4位	テレワーク等のユーザーによる悪意のある操作	3位
5位	内部不正による情報漏えい	6位
6位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	10位
7位	修正プログラムの公開前を狙った攻撃 (ゼロデイ攻撃)	NEW
8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	5位
9位	予報会社IT基盤の障害に伴う業務停止	7位
10位	不注意による情報漏えい等の被害	9位



※ I P A 発行『情報セキュリティ10大脅威 2022』より

太田油脂株式会社

GBS

4

情報セキュリティ研修

質問 応答

パスワード管理において自分の誕生日ではなく、家族の誕生日を登録するのは有効な手段である。回答者の 100% (54/54) がこの質問に正解しました。

2. 次のうち正しいものは○、誤っているものは×としない。(1点)

マルウェアの一種であるランサムウェアは、感染したコンピュータを正常に利用できないようにする目的で、そのコンピュータ内のデータを人質にして、データの回復のための身代金を要求するソフトウェアである。回答者の 89% (48/54) がこの質問に正解しました。

供給責任をしっかりと果たしていく

私が考えた事業リスクとは

大手メーカーへ素材を供給したり、また油脂製品の受託製造(OEM)・PB商品への提供を行っています。そのため、**サイバー攻撃によってこれらをサステナブルに供給できなくなってしまうリスク**があります。それから、自社ブランド商品への悪影響があります。当社は、「世界を健康で笑顔にすること」を企業理念とし、「マルタのえごま」などの健康オイルを始めとする自社ブランド製品を展開しています。こうした製品の供給が途絶えるようなことがあれば、製品をお使いいただいているファンの皆様の健康をサポートできず、**企業理念にも反してしまいます**。

事業継続第一

私たちは、仲間たち(従業員)のモノとココロを豊かにし、「個性的」「健康的」な商品とサービスを通じて、世界を健康で笑顔にする事を事業の目的とします。

私たちの取り組みは評価される結果に

IPA(経営に役立つサイバーセキュリティコンテンツ)

「一回わずか15分」の勉強会で従業員のITリテラシーを底上げ

サイバーセキュリティを経営上の重要なテーマとみなすようになったきっかけを教えてください。

太田 われわれのような中小中堅の食品メーカーにとって、2000年代は「フードディフェンス(食品防御)」が課題でした。異物混入事件が相次いだからです。2010年代に入ると、東日本大震災に象徴される「自然災害」が課題となり、いずれのリスクに対しても、一企業として対処を進めてきました。そして現在は、やはり産業のIT化、デジタル化の影響が大きいです。事業者にとっての利便性を増すために、デジタル化をどんどん取り入れる一方、情報セキュリティを守る「壁」は非常に脆弱であり、このままではリスクが高いと感じるようになりました。

御社がサイバー攻撃を受けた際の事業リスクを、どのようにお考えでしょうか。

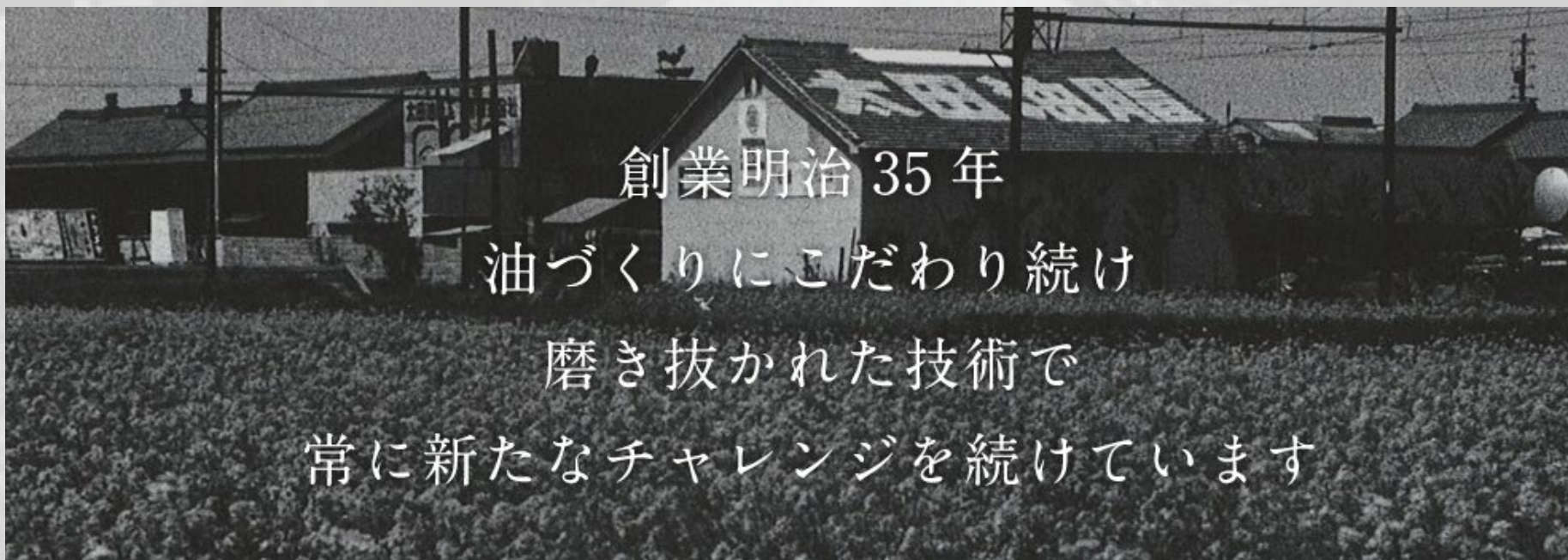
また、そのリスクに対して、現在はどのような対策をとられているのでしょうか。

太田 当社の場合、大きく2つの事業リスクがあると考えています。当社は大手メーカーへ素材を供給したり、また油脂製品の受託製造(OEM)・PB商品への提供を行ったりしています。そのため、まず、サイバー攻撃によってこれらをサステナブルに供給できなくなってしまうリスクがあります。それから、自社ブランド商品への悪影響があります。当社は、「世界を健康で笑顔にすること」を企業理念とし、「マルタのえごま」などの健康オイルを始めとする自社ブランド製品を展開しています。こうした製品の供給が途絶えるようなことがもしあれば、製品をお使いいただいているファンの皆様の健康をサポートできず、企業理念にも反してしまいます。



出典元:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「経営に役立つサイバーセキュリティコンテンツ」より一部引用

⑨ 太田油脂株式会社



IS 780237 / ISO 27001

